

石井先生の

脳卒中片麻痺における 動作分析の極意

講座コード
R-253

歩行分析編

効率的な動作獲得につなげる“活きた”評価の行い方



日時: 2024年11月20日(水) 19:00~21:00

会場: インターネット生ライブ中継

講師: 石井 慎一郎 先生 (国際医療福祉大学大学院)

対象: PT・OT・ST・看護師 (左記以外も受講可)

受講料: 会員 5,400円(税込) 一般 6,400円(税込)

見逃し受講期間
2週間あり

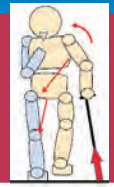
永久保存版
PDFスライド付

目的のない
動作分析の繰り返しに
ギモンを感じて
いませんか?

動作分析は重要と学生時代から言われているけれど、目的の無い動作分析の繰り返しにイヤ気がさしていませんか?そんな状況に、動作のプロ石井先生が喝! この講座では、特に臨床で悩む片麻痺患者の「歩行」をベースに、ADLアップに直結する分析方法を徹底解説。動画・実演で動作メカニズムを理解した上で、動作障害の要因を探り、アプローチにつなげる“活きた動作分析”を学びます。



歩行獲得に活かす動作分析 ～重心とバイオメカニクスのみかた～



ヒトの歩行運動パターンの特性と動作を可能にするメカニズムである、3つのRocker機能の役割を徹底解説。動作のメカニズムの評価として、Heel Rocker機能、Ankle Rocker機能、Forefoot Rocker機能それぞれについて評価していき、さらに動作のメカニズムを阻害する原因を推論するためのアセスメントを伝授します。

- 1 片麻痺患者における歩行の特徴
～3つのバイオメカニクス～
- 2 Heel Rocker機能の評価と
踵接地時のアライメントのみかた
- 3 起立動作時の足部一下腿アライメント
下肢の動きと反射のメカニズム
- 4 非荷重位におけるScrew Home Movement
の評価と脛骨上での大腿骨の内旋
- 5 狭くなる支持基底面の中での重心制御
～遊脚と立脚の円滑な切り替えに必要な神経機構～
- 6 股関節と足部の協調的な重心移動の分析法
ほか

※この講座は離床アドバイザー習得コースの実技0.5単位を取得できます。

基本動作編 11月6日(水)

受講方法

- 1 ホームページよりオンライン登録



日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に! 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラールビル2F

